

FMe-niwa 平成29年度 第4回放送番組審議会議事録

開催年月日：平成29年 11月17日（金） 12:00～13:00

開催場所：株式会社あいコミ 恵庭市島松寿町1丁目28-10

審議内容：COOL CHOICE周知啓発放送に関する意見交換

出席委員数：10名中、出席5名

【代表取締役挨拶】

先般、全道にあるコミュニティFM局が加盟しているJ C B Aが主催するフォーラムが行われ、その中の分科会で、更なるコミュニティFM局同士の横の連携の必要性が話題として挙がっていました。今後、来る災害にも備えるためにも各地域同士の情報発信を強めていきつつ、互いの連携も強めていきたいと考えております。本日もよろしくお願ひいたします。

【審議委員長挨拶】

だんだんと寒くなり冬も目前ですが、季節の中で個人的には、冬が好きで、中でも冬の猛吹雪が好きで、恵庭小学校歌の3番にもある「吹雪を越えていざ行かん」という歌詞を思い出します。さて、先般の新聞に掲載されていた、スペインのカタルーニャ地方の独立運動の話題で、その市長がベルギーの放送局で取材の際にエクソシストのBGMが流れていたことが、審議機関で問題視していた。その様なことも踏まえ、放送の細部についても審議委員会は重要な役割がありますのでよろしくお願ひします。

【事務局より】

放送局の9月、10月のイベントおよび放送実績の概要について説明。

それでは、今回の審議案件であります、クールチョイスの放送について、ダイジェスト版をお聴きいただき、ご意見等を賜ればと思っておりますので、宜しくお願ひいたします。

【ご意見】

- ・主婦層向けの番組に出ている方から、その人的ネットワークを活用して、もっと生活に身近な話題が増えることが望ましい。
- ・ウォームビズ、クールビズは知っていたが、クールチョイスは、このラジオで知った。社会全体で考えていかなければいけないことで、まずは個々の問題意識が大事だと思われるので、ラジオでの意識付けは重要だが、その後の具体的な行動を喚起していただくことが望ましい。例えば24時間営業のコンビニエンスストアは便利であるが、必要最低限の便利さがある時代に戻すというのも一つの手ではないかと考える。
- ・内容は、周知啓発に留まっている部分もあるので、グローバル的な視点ももっと考えていかなければならないと考える。特に世界と比較しても日本は環境に対して後進国であるので、まずは、地方からどんどん発信していくことが必要だと考えます。ラジオでも大前提となる問題意識や危機的状況などを深掘りして伝えていくことも必要ではないか。
- ・例えば、町内会の活動などでも一つの会館に集まって過ごしていることもある意味、ウォームシェアになっているので、そういったことも取材して放送することも望ましい。

【質 問】

- ・この事業は、恵庭市へのプロポーザルで受託したのか？

【回 答】

- ・恵庭市へのプロポーザルではなく、環境省より、一般財団法人環境イノベーション情報機構経由で、受託した事業となります。

その他、番組全般に関する意見は無かったため、閉会。

【出席者数】

総委員数 10名(敬称略)

- 出席 5名 : 坂上(委員長)、市川、遠藤、早川、井上
- 欠席 5名 : 田口、田中、土谷、天水、葉袋
- 放送事業者側出席 3名
代表取締役 三浦 孝史、取締役局長 北岡昌洋、職員 三浦真吾、

審議会の答申又は、意見の概要を公表した場合の公表内容

公表方法 自局内放送および局内掲示板にて

公表内容 上記の概要

公表年月日 平成 30年 1月 25日